さざ川ものがたり

うつりこ　りょうい　心とあさ　おあ
川　さ　小　石
がん　ねっ　ねっ　川
川　つ　谷　戸
さ　ー　田　中

だいじな木

はっぱがあかくなってきた

もみじいさんのはっぱがさいきんあかくなってきました。まだ、みどりだけど、ちょっとだけあかくなってきました。

もみじいさんとは、グラウンドのよこにあるもみじの木です。

うんどうかいのときは、もみじいさんの下で、かぞくでおべんとうをたべました。なつには、二十二人ですいかをたべました。そとで、べんきょうをするときは、もみじいさんの下でします。

これから、あかくなってくるので、まいにちたのしみです。

もみじいさんは、みんなを、まもってくれるやさしい木なのかなとおもいます。

わたしは、なぜ、もみじいさんは、はっぱがあかくなるのかなとおもいます。

みなさん、もみじいさんをぜひ、もみじいさんをみてください。

もみじいさんのまわりでみんなでいっしょうけんめいとうろくしてかぞえている。

ヒマワリのおやつ

なつのある日いとうせんせいに、「ちょっとおいで。」といわれてついていくと、あかいみとくろいみをもらいました。たべたら、すっぱいのとおいしいのがありました。それは、くわのみでした。

くわのみは、がっこうのはやしのあちこちにあります。

あかいみは、すっぱいからもうにどとたべたくないとおもいました。

くろいみは、みためおいしそうじゃないとおもうけれど、たべると、あまくておいしいです。

おみやげにもってかえろうとしたけれど、とってもつぶれやすいので、たべてしまいました。

なつにしかたべられないので、こんどのなつが、たのしみです。

くわのみがいっぱいなる。

まだいきているよ

川のはなし

なつ、ささがわしょうがっこうの二年一にんで川にがくしゅうをしにいきました。川のなまえはしかりべつ川です。いろいろなさかながいました。さかなが二ュルニュルしました。おとがザザザザザといっていました。あたしはながされそうになりました。

けれど川はたのしいですよ。みなさんもいってみますかて川のがくしゅうをするともっとたのしいです。

川には、ハぬーなぎやニジマス、クジラなどいろいろなさかながいました。それにさかなのことをかんがえて、さかながのぼれるかいだんがあってすごいなとおもいました。

らいねんのなつも川にいきたいし、さかなをつかまえるのがたのしみです。つかまえたらたべたいな。

つかまえているとかわいそう。

さかなのかいだんをのぼっているさかなのまえすがた。

もみじいさん

だんだんかわってきた

あたたかくなれー

なっこうのにんじんがなにかにくわれている。「あれキァゲハだ。つかまえた。ようちゅうだった。ウニャウニャしていて、つかんだらつぶれそう。にんじんの、はっぱがすきだから、あげたらぱくぱくたべていた。とくいなことは、たべることみたいです。

つぎの日みるとくきだけ。ちいさいわりには、ウンチが、でかいです。

さいきんさむくなりました。はじめは、はやくさむくなったからすぐにチョウになってでてくるとおもったけれど、それからでてきません。らいねんあたたかくなってからでてくるとおもうので、たのしみです。

でも、チョウのようちゅうがふえるとかうのけ人がこまるので、にがしません。

つくったよ

たねもまいて、まだぬがでてきていないとき。一ねんせいでやさいのかんばんをつくりました。なぜかというと、いろんなたねをまいてわからなくなりそうになったからです。

うえたのは、ピーマンとにんじんとじゃがいもとひまわりとえだまめです。

つくりかたは、はじめにひらがったい木にペンキでじをかきました。つぎにペンキがかいたら、くぎで木のぼうにちいさいてんかちをつかってつけました。つぎの日はたいに大きいてんかちでかんばんをたてました。

みんなが「わかりやすい」といっていました。みんながよろこんでくれてうれしかったです。

大きくなってみがなったのであじくらべをしました。おいしかったです。また、あじくらべをしたいです。